

新地 菊子

株式会社三菱総合研究所

エネルギー・サステナビリティ事業本部

主席研究員

新地菊子は、気候変動に関連するアドバイザーおよびコンサルティング業務に 18 年の従事経験を有する。これまでの主な実績は、カーボンクレジットおよび CCUS（CO₂回収・利用・貯留）に関するものである。CCS および CCUS については、政策及びビジネスモデルに関精通しており、以下の書籍の共著者でもある。

- 『インドネシアにおける CCS パイロットプロジェクトの実現可能性調査』（ERIA、2024 年）
- 『越境 CCS ハンドブック』（JOGMEC、2024 年）
- 『CCS クレジットハンドブック』（JOGMEC、2023 年）

また、カーボンクレジット事業のバリューチェーン全体に精通しており、多国間（CDM／パリ協定第 6 条）および二国間（JCM）スキームを通じて、方法論の開発、プロジェクト登録、クレジット発行、さらにはカーボンクレジット活用戦略の策定まで幅広く対応している。

2004 年から 2020 年まで三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券の環境戦略部に勤務。2020 年 4 月より現職。